

2024.01.05

建廃協NEWS 2024年「新春号」

令和6年を迎えて

組合員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

去年は、振り返りますと地球温暖化が加速しているのではと思わせる、史上最高の猛暑の夏であり、史上最も暑い年でもありました。グローバルに目を向けると山火事等の自然災害は多発し、生態系を脅かす事象が幾つも散見されました。ここ数年の異常気象、もはや対岸の火事では無いと危惧を抱きます。

国内経済に目を向けますと、世界的な影響も受けてか、長年のデフレから一転してインフレ方向へと歩みだしております。“日本の消費者はインフレを受け入れることに慣れていない”とも言われておりますが、物価の上昇、原材料の高騰などは企業の運営や生活環境には厳しい情勢となっており、諸々の課題・問題点の多き一年であったと言えるでしょう。

組合に目を向けますと、行事として5月末の「定時総会」では役員改正があり、前年より5名の増員を図りました。課題の多き時代から建廃協の躍進へ向けての体制づくりと認識しております。2月の「新春セミナー」、11月の「講演の集い」も無事に開催することができました。それまでの2年間はコロナ禍により開催することができませんでしたが、ようやく通常の見取り図に戻れたことを嬉しく思います。

年が変わり新しい一年が始まります。2024年の干支は辰年です。甲辰(きのえたつ)の年であり、その意味合いとして、辰年は「出世」や「権力」の年と言われ多くの方が成功や成就を求める一年のことです。また、この年には「富や財運、幸運」が訪れるとも言われており期待が高まります。辰年の方々は大きい一年を躍動してください。勿論、他の干支の方々も同様です。

さて、今年建設廃棄物協同組合(建廃協)は創設49年目を迎えます。来年は節目の50年を迎える事となりますが、その50周年を如何に迎えるか、如何に取り組むかを踏まえた今年の一年はとても大事な年となります。その上でも「更なる再資源化の追求」、「職場環境づくりの追求」、「脱炭素へ向けた取り組みとその成果の追求」、この三つをこれからの適正処理に加え、排出事業者のパートナーとして環境ビジネスのメンバーとして、循環型社会と環境配慮社会の構築を環境ソリューションと位置付け、組合の付加価値の向上を目指してまいります。

結びとなりますが、組合員の皆さまには、更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、皆さまのご多幸、ご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

建設廃棄物協同組合
理事長 富山盛貴